

ワーカーズ

http://www.workers-net.net/
mail workersnet@workers-net.net

毎月1日発行 1部150円 半年1000円(郵送)
郵便振替 00180-4-169433 (ワーカーズ社)

2017/6/1 571号



今号の内容

- ・跳ね返すぞ！アベ改憲の野望
—— 政治日程に組み込んだ安倍改憲策動は許さない！ ②③
- ・小池「新党」＝「都民ファーストの会」は旋風を巻き起こし躍進するであろうか ④⑤
- ・コラムの窓・・・ ⑤
- ・エイジの沖縄通信・NO396 ⑥
- ・家庭教育支援法とは？ ⑦⑧
- ・なんでも紹介・・・沖縄と朝鮮と日本を結ぶお寺 ⑧
- ・読者からの手紙 ⑨⑩
- ・色鉛筆・・・ ⑩

看板を付け替えても共謀罪の“猛毒”を押し隠すことはできない！廃案あるのみ！

今通常国会の最大の山場だ。過去3回も廃案となった「共謀罪」を新設する組織犯罪処罰法改正案のことである。政府は4度目の正直とばかりに成立をめざして、「テロ等準備罪」と名称変更して看板をかけた。その法案の骨格も内容も以前と大きな変更はない。今回は、労働者民衆に目先を変えた論拠の列挙で誤魔化すのだとの戦術変更である。

大局面の中で「朝日は言論のテロ」とするツイットに対して、今の安倍総理は公式フェイスブックで「いいね」を押ししたとインターネット上では既に大拡散している。全く安倍総理は、実に子供のよう率直で正直な総理大臣である。まさにここに「共謀罪」法案の本質があるのである。

「数の力」からすれば、今回こそ成立かと思いきや衆議院で議論をすればするほど政府・法務省提出の「共謀罪」そのものと金田法務大臣答弁のお粗末さが極だった。つまり市民の誰もが狙い撃ちされる恐怖が明確となつてしまった。

「共謀罪」法案を絶対に廃案にさせる大衆行動を更に発展させていこうではないか。

過去「共謀罪」は一定の条件を整えば「目配せ」でも成立する」との大林法務省刑事局長の答弁、「目配せでも」との条件づけには民衆の驚きと共に大きな反響を呼び3度廃案だ。そもそも犯罪とは実行された「既遂」の段階で処罰されるのが通常で、例外的に「未遂」について処罰されてきた。そして特定の重大な犯罪についてのみ、「予備」の段階で逮捕

「共謀罪」法案の成立後を具体的に推察すれば、森友問題や加計学園問題や対ロ・対北朝鮮外交での失敗等で追い詰められた安倍政権を批判する言動に対する取り締まりに利用される側面がただちに大きく浮上してくる。この今国会で成立するか否かの重

「共謀罪」はテロ対策のため、国連条約加盟のためというのほ嘘。時の政権に目障りな市民活動、働く人々の運動等を監視し抑圧することが目的なのであり、一般市民には関係ないというのほ嘘。一般市民の生活は様々な市民活動や働く人々の運動と深く関わっており、それが抑圧されるとは市民生活が抑圧されることと同義である。そしてそれに関わって直接的にも間接的にも一般市民に対する監視・抑圧・逮捕・冤罪・投獄は必至となる。



跳ね返すぞ！アベ改憲の野望

政治日程に組み込んだ

安倍改憲策動は許さない！

安倍改憲策動は許さない！

安倍首相が改憲に向けてエンジン全開にした。強硬成立させようとしている共謀罪と同じように、改憲勢力の公明党と日本維新を巻き込んで、国会議席3分の2という数の力で改憲を強行するギアにシフトしたのだ。

◆改憲の政治日程化

安倍首相が、改憲に向けてギアを思いっきり切り替えた。安倍首相はこれまで改憲への執着を隠さなかったが、第二次政権発足直後の96条改訂のめくろみ以降、改憲条項と改憲スケジュールについて具体的に言及することリンピックが開かれる「2020年新しい憲法が施行される年」と、期限を切った改憲スケジュールについても明言したのだ。



安倍首相 憲法改正し2020年施行目指す意向を表明

まず憲法9条について、第1項の不戦と平和主義、2項の交戦権の否定と戦力の不保持を記述した部分はそのまま残し、第3項として自衛隊の存在を記述する、あわせて高等教育の無償化や緊急時の議員任期を延長する特例についても言及した。その上で、オリンピックが開かれる「2020年新しい憲法が施行される年」と、期限を切った改憲スケジュールについても明言したのだ。

◆中央突破

安倍首相による唐突な改憲の政治日程化に対し、当初は自民党の憲法改正推進本部などの一部で慎重姿勢もあった。安倍首相が、具体的な改憲条項を、しかも期限を切って明言したことで、安倍改憲策動は、単なる自民党結党以来の「悲願」ではなく、具体的な政治日程に組み込んだことになる。いわゆる「改憲の政局化」だ。

安倍独裁自民党、安倍皇帝のお通りという様相だ。安倍首相による9条改憲へのギアシフトは、国会の憲法審査会が自民党を取り込むための協調路線で議論が低迷していることへの焦りというだけの表れでもある。その停滞を打破し、改憲勢力3分の2の議席をもって突破する路線に切り替えたことを意味する。それは同時に、野党第一党の自民党の足並みの乱れを見込んだ中央突破策でもある。

現に、自民党は安倍改憲阻止で一本化されているわけではない。もともと保守系議員が多数を占めている自民党では、改憲志向の議員が少なからず存在しているからだ。改憲気運を高めていけば、自民党も一枚岩ではいられないと踏んでのことだろう。

安倍首相の思惑は、政界以外にも波及している。かつて9条に自衛隊の保持を明記することを主張していた経団連の榊原会長は、首相が「改憲の方向性を打ち出したことは非常に意義がある」と支持する考えを打ち出した。経団連に特別委員会を発足させて年内にも具体的な提言をまとめるという。

さらに労組のナショナルセ

改憲した項目を2020年に施行するためのスケジュールは?	改憲項目の絞り込み
2017年 秋 臨時国会	改正原案の作成
2018年 1月 通常国会召集	
9月 自民党総裁選	改正原案の審査
秋 臨時国会	
12月 衆院議員の任期満了	国会が発議
2019年 1月 通常国会召集	
4月 統一地方選	国民投票
夏 参院選	
秋 臨時国会	公布
10月 消費税率引き上げ	
2020年 1月 通常国会召集	施行
7~9月 東京五輪・パラリンピック	
秋 臨時国会	

◆ターニングポイント

安倍首相が明言した改憲条項は、これまでの自民党の修正案とは違っている。これまで自民党や改憲派が直接的に示してきたのは、戦力の不保持や交戦権の否定を規定した9条2項そのものだからだ。だから安倍首相の言及は、一面ではその後退ともいえる。その意図は、安倍首相も明言する様に、ともかく改憲をやり遂げるという政治的判断によるものだろう。本丸としての9条2項にこだわって、いつまでもダラダラ議論をするだけで改憲にこぎ着けなければ、改憲の党是は絵に描いた餅になる。公明党や維新の会を巻き込んで改憲を実現できれば、つぎの場面で9条2

項も改訂できる、と踏んでのことだろう。だからといって、安倍首相の政治的判断を甘く受け止めることは出来ない。9条3項として自衛隊の存在を規定する条項を加えても、現状とさほど変わりがない、とはいえないからだ。自衛隊に強いタガをはめてきた憲法上の規定を外す影響は計り知れない。現行憲法では、世界有数の軍隊となっている自衛隊が9条2項の戦力に当たるのは明らかだ。それをこれまでの歴史代政権は、自衛隊を「自衛のために必要な最低限の実力組織だ」とこじつけ、戦力にはあたらないと強弁してきた。確かに、武器の保有や軍事行動について、一つ一つ増強する事に大きなエネルギーを費やさざるを得なかった事情があった。が、9条があつてさえ、かつて当時の米ソに次ぐ軍事費・軍事力大国だった時期もあるし、いまでも世界有数の軍事力を保持しているのが現実なのだ。しかも、自衛のためだとして敵地への先制攻撃も可能な兵器の保有ま

しかも、仮にその国民投票で改憲が否定されれば、安倍首相の退陣どころではなくなる。改憲の機運は、10年、20年のスパンで実現性が無くなってしまふ。改憲の国民投票を実施することは、改憲勢力としても後がない挑戦という正念場を迎えるわけだ。

安倍自民党による改憲策動が煮詰まってくれば、改憲派の攻勢も強まる。単に世論に期待していることは出来ない。いまから身のまわり・草の根の行動から集中行動まで、アベ改憲策動を跳ね返す取り組みに全力を挙げていきたい。

(廣)

憲法9条をめぐる自民党の検討	
現在の9条	
1項	国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
2項	前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。
自民党2012年草案	
9条 1項	国権の発動としての戦争を放棄し、武力による威嚇及び武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては用いない。
2項	前項の規定は、自衛権の発動を妨げるものではない。
9条の2	我が国の平和と独立並びに国及び国民の安全を確保するため、国防軍を保持する。
今回自民党が策定する改憲案	
現在の9条は維持	
+ 9条 (「自衛隊」の存在を明記したうえ、書きぶりを調整)	

た事情はあつた。が、9条があつてさえ、かつて当時の米ソに次ぐ軍事費・軍事力大国だった時期もあるし、いまでも世界有数の軍事力を保持しているのが現実なのだ。しかも、自衛のためだとして敵地への先制攻撃も可能な兵器の保有ま

こうした経緯を考えれば、仮に9条1項、2項を残したままでも、3項として自衛隊の規定を加えれば、軍事力の増強やその実力を背景にした軍事大国化に歯止めがかから



小池「新党」＝「都民ファーストの会」は 旋風を巻き起こり躍進するのぞきか

東京都議会選挙も7月2日の投票日まで残り約1カ月となった。台風の目は、勿論小池「新党」＝「都民ファーストの会」である。

今後の東京都政運営を考えれば、小池都知事は「都民ファーストの会」を中心に公明党等を取り込んだ与党で都議会議席の過半数の獲得を最重要課題としていることは間違いない所。そしてその躍進の力ギを握るのが、彼女の下の



に駆けつけた女性立候補者で、4月30日現在で「都民ファーストの会」は37人を公認、9人の無所属の推薦を決めている。その内女性は約半数に迫る勢いの15人である。彼女たちを詳しく見れば、小池都知事主宰の「希望の塾」出身の高学歴キャリアウーマン系と東京都の各区議や各市議など政治経験者の2タイプに分かれる。しかし彼女たちはまさに小池都知事の人気に惹かれて自分もあやかりたいとの野望を持つ「類は友を呼ぶ」にふさわしい面々である。

小池知事がめざす都議会議席の過半数に達するには政策協定を結んだ公明党や東京・生活者ネットワークの当選者も含まれるが、「都民



日に実施された報道系ベンチャーのJX通信社の東京都民に対する第4回目の調査を紹介する。それによると、小池百合子東京都知事の支持率は61.4%で不支持率は11.3%であった。

争点となる小池都知事が延期を決めた豊洲新市場への移転の是非については「移転するべきだ」と回答した人が40%で、「移転するべきでない」が23%、「どちらとも言えない」38%（いずれも小数点以下は四捨五入）であった。

また5月12日、東京テレビが行った「世論調査」によると、自由民主党支持が32%、小池「新党」支持は17%と、大きく水を開けられている。

この豊洲問題への小池知事の対応を「あまり評価しない」とまたは「全く評価しない」と答えた層は合計22%となり、1月の調査開始以来初めて2割を超えた。「高く評価する」「ある程度評価する」と答えた層は合計で74%で、前月より3%減る。2月以来肯定的評価の声は増加しており、裏返しに肯定的評価が徐々に減る傾向も続いているのである。

都議会公明党が豊洲新市場への移転判断を早期に行うよう求めるなど「助け舟」を出すが、今や6ヶ月が経過して自民党が決断できない都知事だと小池攻撃を開始したことにより、再燃した豊洲移転延期問題が都民の小池都知事への評価に影が差し始めたと言えらる。

こうして自民党との闘いは、どちらが都民ファーストであるかが、政治立場が同じ以上都政の強調点が多少違うだけではない。東京五輪「都外仮設設備費」500億円全額負担問題や来賓クルーズ船20億円問題では、小池都知事は安倍政権に押し込まれたかのように、無駄遣いの従来都政の継承をしているイメージづけされたのである。

しかしながら時間はその虚

飾をさらに無慈悲にはぎ取り、その実像をはっきりと明らかにする展開となるであろう。また評価されている豊洲移転延期も、そもそも小池都知事の鶴の一声で独断で決めたことを忘れるべきではない。

ここに来て小池都知事に対して2016年12月の五輪選手村整備の官製談合疑惑に住民監査請求が行われた。それによると選手村整備の名目で中央区晴海の都有地約13万4千平方メートルを不動産会社11社に対し市場価格の10分の1、129億6千万円で売却したのは違法であり、小池都知事に対して損害の千億円の回避・補填の勧告を求めている。

これらの会社11社の内、三井不動産など7社には都幹部OB12人が天下りしている。都幹部の天下りは小池都知事の下でもしつかりと続いてきた事実が報道された。

このように小池都知事のかげ声は都民ファーストでもその実態は東京都政の腐敗と都知事の独裁を継承している。つまり小池都知事の用いている政治手法とは、石原元都知事と大差なく、実際には日本のヒラリーの名に違わない権謀術数に充ちたものなのである。

端的に言えば、小池都知事の最大の敵は時間である。まさに強敵ではないか。確かに都議会選挙では若干の躍進があるかもしれないが、失速も大いにあり得るのである。

(直木)



中国の故事で病気が重くなって治る見込みが立たないことを言うものですが、広辞苑には「転じて、悪癖や弊害などが手のつけられないほどになる」と解説されています。ほかでもない、象徴天皇制の存続強化を目論むアキヒトへの隷属的世相のことです。

最悪なのはマスコミ報道です。無意味で特殊な敬語を使用し、ことさらに報道する。他に報じる重要なことながらもあるだろうに、某婚約報道を垂れ流し続けています。それが、関電高浜原発4号機再稼働や共謀罪法案の衆院法務委員会での強行採決、さらに付け加えれば森友や加計学園の闇などより、「こんなにやく報道」

病膏育に入る!



が重要だったのでしようか。しかも、そんなことはすでに明らかだったのに、政府が「報道解禁」の好機を狙っていたというから最悪です。

そして5月21日には、毎日新聞が1面で「(陛下)退位議論に「ショック」 宮内庁幹部「生き方否定」」などと報じました。内容はこうです。例の有識者会議のヒヤリングで、保守系の専門家が「天皇家は続くことと祈ることに意味がある。それ以上を天皇の役割と考えるのはいかがなものか」などと発言した。これは、「陛下の公務は、象徴天皇制を続けていくために不可欠な国民の理解と共感を得るため、皇后さまとともに試行

錯誤しながら『全身全霊』(昨年8月のおことば)で作り上げたものだ」

宮内庁はこう言って保守系の主張に対する「陛下の不満は当然だ」と説明しているようです。語るに落ちるとはこのこと。アキヒトは国民に象徴としての姿を受け入れさせ、天皇家の安泰のために公務なるものを行ってきたのです。この際、アキヒトの個人的善良さや誠実さは何の意味もなく、それが社会に及ぼす害悪が問題なのです。

私は天皇制なるものは民主主義とは相いれないものだと思います。敗戦時に捨て去れなかったがゆえに侵略戦争の社会的反省がおざりになり、悪事の数々とともに向き合えない日本人があまりに多いのです。朝鮮民主主義人民共和国との正常な関係は、その最たるものです。謝罪と補償なくして新たな一歩を踏み出すことなどできないのに、

さらに、いざれ新しい元号なるものが登場するでしょうが、これを無視することです。不便で不合理な元号をありがたがって使う日本人は多いでしょうが、自立した市民はすべからずこれを無視しましょう。東京五輪が行われるとされて、多くの人が天皇を頭上に頂いて有難がっている日本人ではない個人へと変身できたらどれほど素晴らしいことでしょう。

(晴)

デタラメが横行する辺野古工事

(1) 防衛省役人のデタラメ答弁を聞いて

5月17日、辺野古の抗議船船長である北上田毅さんが東京に来ると聞き、参議院議員会館で開かれた「辺野古新基地建設／護岸工事の違法性



院内集会で報告する北上田さん

参議院議員会館で院内集会が始まり、北上田さんが今の沖縄防衛局の違法工事の実態を詳しく報告してくれ、今始まっているK9護岸工事の内容が良く理解できた。次に防衛省役人6人との交渉が始まった。

を問う」院内集会と防衛省交渉に参加した。

地下鉄を降りて議院会館に行き、前に行ったところ、「共謀罪」に抗議する人たちが大結集！その中に多くの知人たちが座り込んでいた。何としてでも「共謀罪」を阻止しようとする熱気がムンムンとしていた。

防衛省役人の解答を聞くが、こちらの質問にまともに答えないで論理が成り立たない話を何度でも繰り返す。逃げとデタラメ答弁ばかりで、聞いていてイライラだ！今回の防衛省役人の答弁を聞いていて感じたことは、今



K9護岸工事の様子



「石材の投下を阻止しようとするカヌー隊」

の「森元問題」や「加計学園問題」における安倍首相や閣僚大臣や官僚の答弁と同じで、ウソとデタラメで逃げるばかり。今の日本の指導者層は政治家も官僚も経済界もデタラメばかりが横行し、間違いなく日本社会は崩壊しつつある。私たち市民が立ち上がるしかない！

(2) K9護岸工事のデタラメさ！

辺野古では4月下旬から、沖縄防衛局がK9護岸工事にとりかかり、海岸部での投石

がはじまった。今後、埋立て作業を強行しても、作業は仲間間前事による許可の範囲でしかできず、早晚作業は行き詰るはずだが。ところが、沖縄防衛局は違反だらけの工事を進めている。①沖縄県知事の「岩礁破碎許可期間」が3月31日で許可が切れている。②防衛省自身が決めた工事手順を勝手に変更し「設計概要変更申請」をしていない。③サンゴ類の移植等、環境保全対策の協議を無視している。④「埋立承認の際の留意事項」(事前に県と協議を行うこと)をまったく無視して工事を強行している。

ダンブで投石を運ぶために造成した「仮設道路」も、許可を得ていないものである。それでも、防衛省は「あれは道路ではない」と言い張る。特に護岸工事が始まってから目立つ違反行為が、石材が海に投下されたとき粉じんが舞い上がり、海が白く濁り汚染が広がっている事だ。どうも砕石場において石材を洗浄しないで、そのまま投下しているようだ。

工事再開以後、突如として大型調査船「ポセイドン」(4000トン)やスパッド台船やクレーン台船を投入して海底ボーリング調査の再開をしたが、その理由も説明しない。これも、大浦湾海底部に琉球石灰岩層の「鍾乳洞」があり、そのために、基礎地盤の支持力強化が必要になっているのではないかと問われている。

このように手続きをまったく無視して、今「K9護岸工事」をどんどん進めている。サンゴの移植も約束していたのに移植しないまま工事を強行。貴重な自然を破壊しながら、違法工事を強行しているのが辺野古工事の実態だ。(富田 英司)

家庭教育支援法とは？

●国家に従順な子どもがつけられる

今国会で、自民党が成立を目指す「家庭教育支援法」(仮称)はどんな内容のものなのでしょう。その要旨を見てみると、家族を社会形成の基本単位として位置づけ、子に国家・社会の形成者として必要な資質が備わるよう環境整備をしようというところらしい。その環境整備には国と地方公共団体に施策の策定と実施を求め、学校・保育所の設置者、地域住民に施策協力の努力義務が課せられるようです。まさに国家総がかりで家族の内心に介入しようとしている、と言っているでしょう。

●支援法の背景には何が？

なぜ、自民党がこの時期に家庭教育を支援することが重要な課題とし、法の制定まで行おうとしているのでしょうか。その背景は、1947年3月の教育基本法公布施行から1948年6月の両議院「教

育勸語等の排除に関する決議」を経て、96年「新しい歴史教科書をつくる会」結成、97年「日本会議」結成、2000年4月「新しい教育基本法を求める会」設立、そして2006年12月、教育基本法「改正」に至ります。この「改正」では、国家によって有用な人材育成を目指し、国や郷土を愛する態度を強いるなど、これまでの個人の尊重を軽視する大幅な理念の変化を押しつけています。

●多様化する社会に逆行する動き

私たちは、85年の女性差別撤廃条約批准、99年男女共同参画社会基本法成立、と女性の地位向上の実現に近づく社会に向かって歩んでいた

家庭教育支援法の恐ろしい中身



戦争準備は共謀罪だけじゃない 国家に従順な子を育てよ

2000年の介護保険制度の施行で介護の社会化は始まり、妻や嫁が担っていた私的な介護から、公的な機関で不十分なながらも保障されるようになりまし。

しかし、これを逆行させる家庭教育支援法案が家族を単位として、まるでシングルを排除するかのよう、自民党を支援する様々な団体の成果として現れてきたのです。

2012年12月、熊本県では「くまもと家庭教育支援条例」が作られ、親の子への過保護・過干渉・放任など教育力の低下を指摘し、親も学習し成長するよう努めることと明記されています。

●家族の助け合いを強調

民法では、夫婦・親子中心に一定範囲の親近者に、未成年・高齢・障がい・病氣・失業などのために経済的に自立できない人を扶養する義務を課しています(民法877条)。

近親者の間には、自然の愛情、共同生活の連帯感、慣行

きません。

「日本国憲法も、国民の生存権と国によるその保障義務を規定している(25条)。

この規定との関係であれば、民法が扶養について規定するのは、近親者の扶養義務を強制するためではなく、無限に広がる可能性のある私的扶養の限界を示すためであるといえる。国や自治体の財政的責任において行う公的扶助、私人が収入から一定額を拠出



国に先駆けて「家庭教育支援条例」を制定した熊本県の「親の学び講座」の様子

2013年「婚外子への相続分差別違憲」では、婚外子の遺産相続分を嫡出子の半分とする規定を違憲とした最高裁判決が勝ち取られ民法改正が施行されました。

戦前の家制度などの反省から「個人の尊重と両性の本質的平等」をうたった憲法24条。自民党の改正草案は、個人ではなく家族を基礎的な社会の単位として位置づけ、家族保護を重点に女性を家庭に押しとどめようとしています。

憲法24条が女性の権利と個人の尊重を確立するために規定された画期的な条文であることを、再度、確認したいと思います。

(折口恵子)

なんでも紹介...

沖縄と朝鮮と日本を結ぶお寺

★具志頭王子の墓

私の住む清水の興津に「清

見寺」という古いお寺(万葉集にも詠まれ、今川時代に若き家康が人質の身で勉強に励

んだ由緒ある寺)がある。まさか、このお寺「清見寺」に琉球時代の王子のお墓があるとは知らなかった。

時は、1609年薩摩の琉球侵攻の翌年、1610年4月11日、琉球王国第二尚氏王統7代目・尚寧王は徳川將軍(2代目秀忠)謁見のため、薩摩藩主島津家久に伴われて江戸に向かった。

尚寧王には琉球の家臣が同行していたが、その一番近くで立ち働いていたのが12歳年下の弟、具志頭王子朝盛だった。具志頭朝盛は摂政として薩摩侵攻後の戦後処理に尽力を尽くした人で、1589年兄の尚寧が王位に就いたことに伴い王子となった。

最終目的地は江戸城だったが、琉球征伐の許可を出した將軍は徳川家康だったので薩摩藩はまず、駿府城(静岡県)に隠居していた大御所家康を訪ねた。

立ち寄った駿府で、具志頭王子はこれまでの疲れが出たせいか発熱してしまい、8月11日の家康との謁見後、立ち上がることもできなくなる。尚寧王一行は泣く泣く具志頭王子を駿府に残して江戸に向かい、無事秀忠將軍に謁見することが出来た後に、具志頭王子の訃報を知らされる。

駿府に残った具志頭王子は手厚い看護を受けたが、8月21日に息を引き取った。

33歳の若さ、祖国に妻と3人の子を残してのまさに無念の死であった。

初めて清見寺の高台にある具志頭王子のお墓参りをした。小高い丘の中腹から駿河湾に向かい、琉球を望むようにして建立されている。お墓には「泡盛」などが供えられていて、お寺の関係者に聞いたところ「静岡の沖繩県人会の皆さんがよく墓参りに来ますよ」という。

私の住む近くに、沖縄と清水をつなぐ王子の墓があることを発見し、不思議な気持ちになった。

4月1日に韓国のソウルを出発し、52日間かけてソウル、釜山、下関、大阪、東京へと。そして、5月22日に東京の日比谷公園に無事到着した。(富田 英司)



1. 清見寺/明治22年に開通した東海道線が敷地内を走っている。



2. 清見寺にある「具志頭王子の墓」



3. 清見寺を見学する「友情ウォーク」のメンバー



4. 今年の「友情ウォーク」のゼッケン

「金は金を生むが価値は生まない。価値は人間労働から生まれる」(下)

金貸しは、古くはギリシャ・ローマ時代、シエイクスピアのベニスの商人のシャイロックにみられるように、金融資本主義社会のずっと以前から存在した。フランスの貴族階級はその社会的地位にもかかわらず、しばしば経済的困窮から大いに金貸しを利用した。

ドといった社会的地位まで手に入れた。日露戦争では、アメリカの大金融資本家は日本側に味方し、高橋是清は意気揚々として資金調達に成功して帰国した。こうした資金で日本は大量の最新兵器をドイツのシーメンス、イギリスのアーム・ストロング等から買い受け、日露戦争に突入し、やっとのことでロシアに勝利した。

イスラム教創始者マホメットは、メッカの商人の出であるが、もうこの当時から、利息の社会的弊害を憂っていたのだろう。ところで唯物論は、唯心論とまったく相容れないものと考えられている。

近代経済学の「需要・供給」論の中に精神はない。人間の労働は人間のもつあらゆる内的な要素を必要とする。回避的に所有している。「努力」はもう一度言おう。人間にしか与えられていない大自然の贈物だ。

惑星は常に回転、前進し、銀河系の星々は北極星を中心に回転し前進している。巨大な樹木は、一粒の種から大地の養分を吸収して天へと前進する。人類は詩人ホイットマンが謳ったように、コロンブスは前へ前へ進んだ。「sailon, sailon, sailon and on」、「前進」は人間の評価での「進歩」か「進化」かはわからない。しかし、前進のために「努力」労働をするのは人類の運命だ。

しかし、金貸しは同時に忌むべき職業とみなされ、もっぱらユダヤ人にまかされた。ある皮肉屋は「フランスはユダヤの金貸しがいなかったら、それを発明したであろう」と、揶揄している。

1860年代の倒幕の戦いにおいては、三井は雄藩・幕府両者への資金提供、ロスチャイルドはナポレオン・王制両者への貸し付け、もっとも勝利予想側へは一層割増して、商売だけでなく名誉称号・バロン(男爵)ロスチャイル

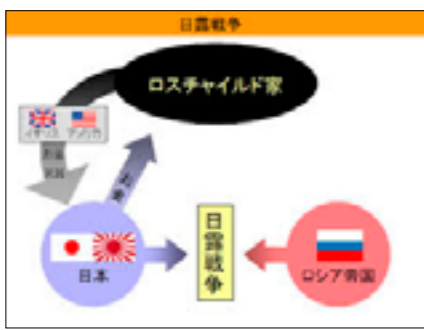
といった民間会社が国の軍隊のかわりをする事が出来るのか、という批判にもかかわらず、金儲けにいそんでいる。金融資本が彼らをバックアップしているのだ。民主主義の看板にもかかわらず、モラルは地に落ちた。金融資本の根っこである利息は、610年マホメットが

社会的な経済構造が人間の精神や感情を規程するのはたしかだ。しかし唯物論者は、一見

人間精神とは無関係にみえる経済理論の中に、「人間労働」が価値を生むと説いているのではないか。近代経済学の「需要・供給」論の中に精神はない。人間の労働は人間のもつあらゆる内的な要素を必要とする。回避的に所有している。「努力」はもう一度言おう。人間にしか与えられていない大自然の贈物だ。

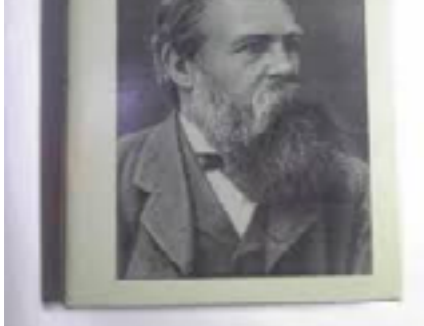
ベートーベンが音楽を創造する努力の中で「神とは大自然のルールである」と結論した。大自然は前進することを要求する。時間は前進し、二度と帰らない。過去には帰らない。「単なる富の追求は人類の

読者からの手紙



金融資本が彼らをバックアップしているのだ。民主主義の看板にもかかわらず、モラルは地に落ちた。金融資本の根っこである利息は、610年マホメットが

社会的な経済構造が人間の精神や感情を規程するのはたしかだ。しかし唯物論者は、一見





映画「標的の島」先行上映会
 6月3日(土) 18:00~21:00会場
 静岡市「サールナートホール」
 映画会終了後、簡単な交流会を計画。

最後の運命ではない。(省略) 高い形態における復活である
 社会の解体は、富をその唯一の終局的目的とする歴史的進路の終末として吾々の前に迫っている。何故ならかかる進路はそれ自身の破壊の要素を含んでいるからである。
 (省略) 経験、理性及び科学がそれに向かって絶えず『努力』しているところの次のより高い段階をさし示すのである。それは古い氏族の自由、平等及び友愛の、しかもより力』するといふ意味である。

自からが誠実、「嘘をつかない」「街わない」(自然のまま)で努力する精神は「神」を心の中にとりもどし、自然を敬愛し、同胞を愛し、子どもたちを尊敬する(なぜなら子どもは一番自然に近いから)。
 労働の価値をとりもどした社会実現も夢ではないと思える。
 (M)

「よし、よし」には負けない

私にはどうしても忘れられない新聞投書がある。2月6日、辺野古の工事再開で海に大型ブロックが228個も沈められ、海が死ぬかもしれないと駆け付けた66歳の沖縄女性が、その日の体験を琉球新報(2月16日)に投稿したもの。
 工事ゲート前で、機動隊員20人ほどの足元に彼女たちが座り込んだ時。
 『「よし、よし」というかけ声とともに、機動隊員の足が女達の上に押し付けられ、押しつぶされそうになった。「うかーさぬ!ちゅが死ぬんぞー!」(危ない、人が死ぬ、基地建設への抗議、憤りを沖縄をはじめ全国の集会で元気に訴え続けている。2015年11月に初めて、辺野古に東京警視庁から150人の機動隊員が、翌年7月からは高江に本土の5都道府県から500人余りが派遣されて以来、こうした激しい暴力、「土人」といった差別発言が露骨になった。非暴力を振るっても彼らが罪に問われることは無い。反対に、抗議の市民に対しては、見せしめ・脅かしの不当逮捕が後を絶たない。152日間も長い拘束の末、3月18日ようやく釈放された山城博治さんには、接見禁止令がつけられ、今は抗議の現場に近づく事が出来ない。他にも2人に対して同様な禁止令が付けられている。それでも彼らはめげず無

ぞー!」(危ない、人が死ぬ、基地建設への抗議、憤りを沖縄をはじめ全国の集会で元気に訴え続けている。2015年11月に初めて、辺野古に東京警視庁から150人の機動隊員が、翌年7月からは高江に本土の5都道府県から500人余りが派遣されて以来、こうした激しい暴力、「土人」といった差別発言が露骨になった。非暴力を振るっても彼らが罪に問われることは無い。反対に、抗議の市民に対しては、見せしめ・脅かしの不当逮捕が後を絶たない。152日間も長い拘束の末、3月18日ようやく釈放された山城博治さんには、接見禁止令がつけられ、今は抗議の現場に近づく事が出来ない。他にも2人に対して同様な禁止令が付けられている。それでも彼らはめげず無

色鉛筆

らめげず無



「女性にも強引な強制排除をする機動隊」